



愛称:クリちゃん

# 栗原おさむNews

市政・市議会レポート

みんなで創ろう みんなの足利

## 8月が2ヶ月あったような暑さも終わり待ち焦がれた秋となりました。

朝晩めっきり涼しくなりました。

あれだけ暑かった9月も、お彼岸あたりから急速に季節が変わり、急激な温度差に体調を崩された方もいらっしゃるのではないかと思います。皆様には実りの秋、読書の秋、スポーツの秋を満喫されているものと存じます。

さて、このたび決算議会(注1)でもある9月市議会の特集号として、『栗原おさむNews』第11号を発行いたしました。是非ご一読いただきたくお届けさせていただきました。



◎写真は山辺小学校でのバイキング給食でのひとコマ(^\_^)v

### ◎9月市議会

9/1 開会・提案説明等  
9/8~10 一般質問  
9/13~14 常任委員会  
9/15~16 決算審査  
9/21 最終日・表決等

#### (注1)

9月議会は決算議会といわれ、前年度の決算が報告され、議会では税金の使い道等について詳しく審査します。

## どうなっているの？足利市の財布の数と収支

### ◎自治体の財布はいくつあるの？

自治体の財布は大きく分けて「普通会計」と「公営事業会計」(注2)に区分されます。ここでいう普通会計は統計上の概念ですが、この中身は「一般会計と特別会計」(注3)に分類され、さらに本市の場合、9つの特別会計で事業の会計処理をしています。

### ◎まだある隠し財布(負担)？

自治体の直接の財布は上記のとおりですが、自治体がお金を扱っているのはこの他に、一般会計から補助金や出資金等を支出している一部事務組合(本市は該当なし)、地方公社・第三セクター等(本市は5団体(注4))があります。

### ◎結局のところすべての収支は？

本市すべての会計決算は下記のとおり黒字です。

### ◎平成21年度収支の概況

単式簿記で経理されている一般会計及び9特別会計(公営事業会計以外)の総決算額は、歳入総額844億718万1千円、歳出総額817億266万1千円、差引差額は27億452万円で、翌年度に繰り越す繰越明許費(未払金)1億7,551万7千円、各種基金積立金13億円を差し引いた**12億2,900万3千円**が平成22年度予算に繰り越されます。なお、複式簿記で経理されている2公営事業会計は合計で**2億3,741万5千円**の純利益を計上しています。

### ◎特別会計

- ①介護保険特別会計  
(保険事業勘定)
- ②介護保険特別会計  
(介護サービス事業勘定)
- ③国民健康保険特別会計  
(事業勘定)
- ④老人保健特別会計
- ⑤後期高齢者医療特別会計
- ⑥公設地方卸売市場事業特別会計
- ⑦農業集落排水事業特別会計
- ⑧公共下水道事業特別会計
- ⑨堀里ニュータウン下水道処理事業特別会計

### ◎公営事業会計

- ①水道事業会計
- ②工業用水道事業会計

#### (注2)

地方公営企業法の規定に基づく自治体が経営する事業の会計を指し、複式簿記で処理されています。

#### (注3)

一般会計は自治体の基本的な経費を盛り込んだ会計で、単に財政という一般会計を指す場合が多いです。

特別会計は左記のとおり公共料金や利用料のほか一般会計からの繰入金等独自の収入で充てられています。

なお、両会計とも単式簿記で処理されています。

#### (注4)

- ①土地開発公社
- ②MBS財団
- ③文化財団
- ④地場産業振興センター
- ⑤両毛メート

(注5)

歳入とは、国の財務規定である「財政法」第2条で定義しており「歳入とは、一会計年度における一切の収入をいう」としています。

(注6)

市税は、市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、鉱産税、特別土地保有税、都市計画税、地方譲与税で構成されています。

(注7)

歳入に対する滞納繰越額の割合は、足利市が14.3%、下野市が5.4%、宇都宮市が6.2%、前橋市が6.6%です。

(注8)

歳入徴収額を調定したものの何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため地方自治体がその徴収を諦めること。

(注9)

公営事業会計を除いた一般会計及び9つの特別会計の合計額を置き換えました。

### ●決算審査特別委員会って何？

一般会計及び9つの特別会計並びに2つの公営事業会計に係る決算に関する議案を審査するための特別委員会のことで、予算も決算も本会議で審議するのではなく特別委員会を設置し審査します。

ただし、予算の場合は、4つの分科会も設け更に詳しく審査することになります。

## どうなっているの？足利市の歳入（債権）状況

### ◎市税の状況について

歳入（注5）に占める市税（注6）の割合は39.6%で、前年度に比べ4.6%減少しています。現年課税分の収納率は96.0%で前年と同一ですが、滞納分は12.5%で0.7%悪化しています。

また、市税の徴収実績では、**県内14市中11位**で昨年から1つ順位を上げていますが、順位が低いことに変わりはありません（国保税は13位）。今後、当局は更に納税意識の啓発の徹底を図るとともに、なお一層の徴収努力が必要です。

### ◎収入未済額の状況について

「収入未済額」、難しい言葉ですが噛み砕いて言うと、当初予算で計上していた収入のうち、最終的に入ってこなかった金額（未収金）をいい、収納率が悪化するところの金額も増えます。

普通会計及び公営事業会計の収入未済額の合計額は、69億6,205万8千円に上り、これらは未収金（滞納分）として翌年度に繰り越されます（注7）が、これらの一部がいずれ不良債権（不納欠損額）化することになります。

### ◎不納欠損額の状況について

普通会計及び公営事業会計の不納欠損額（注8）の合計額は、9億3,240万2千円で、5.3%増加していますが、その理由は、無財産、本人死亡、倒産、国外帰国、所在不明、生活困窮によるもので、法に基づき債権放棄しています。

## どうなっているの？足利市の市債（債務）状況

### ◎着実に減少している借金残高

都市基盤を整備するための経費のすべてを今の働く世代が負担するのではなく、長期的視野で次の世代へ公平に負担を分担するため、市債により財源を確保することは大切なことですが、過大な負担は後年度の財政の硬直化を招きます。

足利市の市債残高は、財政健全化計画実施計画の実行や繰上償還の実施などにより着実に減少しており、全会計の市債残高は約999億円になりました。

(単位：千円)

区 分	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 17 年度
一般会計	47,484,423	48,781,094	51,360,693	53,656,608	55,559,475
公設市場事業	25,297	29,494	33,443	37,158	40,652
農業排水事業	185,942	194,836	204,523	215,777	228,465
公共下水道事業	52,232,326	54,012,390	56,646,731	58,775,458	60,189,085
合 計	99,927,988	103,017,814	108,245,390	112,685,166	116,017,677

何だかケタが多くてピンときませんが、これを一般家庭の家計に置き換え（注9）ますと年収約422万円の収入に対し年間支出は408万円、預貯金後の差引自由になるお金が6万円あり、4つのローン残高が499万円の家庭といえます。

## 栗原おさむの決算審査特別委員会での質疑（抜粋）

市議会の申し合わせにより決算審査特別委員会の委員の発言時間（注10）に制限が設けられている関係上、質疑を1点に絞り深く掘り下げて行うか、多くの内容を質疑するか、各議員は質疑のやり方に工夫が必要になります。

ここでは、紙面の関係上、全質疑9項目のうちの一部を掲載しました。

### ◎一般会計 歳入 4項目の質疑のうち

（質疑）市税等全体に占めるコンビニに収納（注11）の割合とコンビニでの納税者の個人情報保護についてどのように指導しているか聞きたい。

（答弁）収納全体に占める利用割合は7.0%で、そのうち金融機関の営業時間外の割合が48.8%であり、個人情報保護については、その契約の中で個人情報秘密保持義務を課しているが、何か不具合があれば対処していく（収税課長）。

### ◎一般会計 歳出（教育費）5項目の質疑のうち

（質疑）小中学校の普通教室への扇風機設置は完了したが、理科室や家庭科室等特別教室（注12）への設置の考えはないのか。

（答弁）児童・生徒の学習環境向上のため必要性があるので、特別教室の特性に合わせ扇風機又はエアコンの設置に向け検討していきたい（学校管理課長）。

## 栗原おさむの9月議会での一般質問要旨（抜粋）

9月市議会において通算8回目の一般質問を下記のとおり4問6項目（注13）にわたり行いました。

紙面の関係上2問についてその内容をご紹介しますが、質問と答弁の詳しい内容は、市議会ホームページにてご覧いただくことが出来ます。

### ◎小額、小規模工事の活用について

（質問）経済不況により公共工事の発注件数が減少する中、小額、小規模工事の登録業者から見積もり依頼が一向にないという声がある。小額工事、小規模工事制度は積極的に活用を進めているのか。

（答弁）市内業者の受注機会の拡大を目的とした本制度の趣旨を踏まえ、登録業者に積極的に見積もり参加機会を与えるよう、小額工事、小規模工事を発注する各課に働きかけている（総務部長）。

### ◎学力の向上と学力向上対策について

（質問）学力・性格・行動・家庭環境などによって様々なタイプの子供がいるが、彼ら一人ひとりの学力向上を目指して、各学校及び教育委員会は、どのような具体策をとっているのか。

（答弁）各学校では、体験的・問題解決的な学習を取り入れ、思考力や判断力、表現力の育成につとめている。教育委員会は、実践的な研究の指導や、学習指導の研修会の開催、研究員を委嘱して教材・教具の開発などを行っている。

#### （注10）

歳入に関する質疑での発言時間は歳入を一括して一人当たり持ち時間が5分間（答弁を含まない。）

歳出は、款（大科目）ごとに一人5分間の限定になっています。

#### （注11）

平成19年9月市議会での私の初質問において、20年度から軽自動車税を、21年度から更に拡大していく旨の答弁をいただきました。

また、今年度から上下水道料金もその対象になりました。

#### （注12）

理科第一分野、理科第二分野、音楽、美術、技術家庭の授業はそれぞれ専用の特別教室で実施しています。

#### （注13）

- 1 入札・契約制度について
  - (1) 電子入札の実施経過と運用範囲の拡大
  - (2) 小額、小規模工事の活用
- 2 環境行政について
  - (1) 地球温暖化対策実行計画
- 3 教育行政について
  - (1) 学力の向上と学力向上対策
- 4 消防行政について
  - (1) 北関東自動車道開通に伴う防災・救急体制等
  - (2) 北関東自動車道の救急搬送業務に係る環境整備

## (注14)

本会議での審議に先立って、議案ごとに所管する常任委員会へ付託して予備調査や審議を委ねます。

## (注15)

「足利市民薬局」では、そこに入居する薬局があたかも市直営又は市がバックに付いているのではと市民が誤解するのではないかと。

◎写真の人物について  
上から順に

- ・東京大学名誉教授  
大森 彌 氏
- ・神奈川県知事  
松沢成文 氏
- ・同志社大学教授  
橋本俊詔 氏
- ・東京大学教授  
御厨 貴 氏



福嶋浩彦前我孫子市長



蓬萊務小野市長(兵庫県)



## 足利市市民薬局条例の修正動議

多くの市民が注目の旧競馬場跡地内に建設予定の民間保険薬局が入居するテナントビルに関する条例(足利市市民薬局条例)は9月13日(月)開催の常任委員会(注14)で可決されましたが、その名称「市民薬局」については多くの委員から疑義(注15)が寄せられていました。

常任委員会での審議状況を踏まえて、市議会内各会派は当該条例案の取り扱いについて検討し、議員提案による修正案を提出することとしました。

私が所属している自民党新誠会では、賃貸借期間が最長18年間であることも長過ぎるのではないかと考えもありましたが、「名称」だけの修正にとどめ、全議員の同意により修正案を提出し、全会一致で可決され「足利市薬局施設条例」が制定されました。

## 議員活動報告(上半期各種研修会参加状況)

## ◎平成22年度第1回市町村議会議員特別セミナー

- 4月15日(木) 4月16日(金)
- これからの地方自治と議会の役割
  - 掘り起こした! 秩父の宝
  - 日本政治の展望
  - リーダーシップ温故知新



## ◎PHP公共経営フォーラム

- 4月26日(月)
- マニフェスト・サイクルの形成と首長のリーダーシップ
  - マニフェストと地方議会
  - 行政・議会・住民の協働によるマニフェスト・サイクルの推進
  - マニフェストはこう作れ、地域をこう動かせ!



## ◎第10回市町村議会議員研修会

- 5月13日(木) 14日(金)
- 地方議員として知っておきたい地域医療の集中講座

## ◎第1回2010年度日本自治創造学会「研究大会」

- 5月17日(月) 18日(火)
- 地域主権国家と地方自治の展望
  - 政策立案と開かれた議会づくり



## ◎(公益財団法人)東京財団政策研究

- 5月26日(水)
- 地方議会の改革プロジェクト公開研究会(政策提言)



## ◎第12回都市経営セミナー

- 6月18日(金)
- 都市自治体の財政健全化

必ず  
実  
行

**見る** 市民の皆様がどのようなことで困っているのか **必ず現場を見に行きます。**

**聞く** 市(行政)に対しどのようなことで困っているのか **必ず要望をお聞きます。**

**言う** 市(行政)の担当部署に皆様の要望を **必ず言いに行きます。**

**答える** 担当部署と話し合った結果を相談者された方へ **必ず答えに行きます。**



栗原おさむ事務所

〒326-0824  
足利市八幡町 1-2-8  
TEL 0284-72-8292  
FAX 0284-73-6681  
HANDY 090-1407-6727